

～教育委員会ニュース～

NO. 1

今、学校園がおもしろい！

2014年4月10日

発行：泉佐野市教育委員会

新年度がスタートしました！！ 教育長 中藤 辰洋

桜の開花とともに平成26年度がスタートし、夢と希望に胸をふくらませた多くの新入園児・児童・生徒を迎えました。また、新任の教職員も31名配置され、各学校園がますます活気づくことと思います。

学習指導要領に基づき、伝統や文化に関する教育や道徳教育などのさらなる充実に努めます。特に中学校においては、必修となった武道を積極的に推進するため専門の講師を配置するとともに、外部人材の有効活用などにより中学生の体力向上及び生徒指導の充実に努めます。

学力向上に向けては、6年目を迎える“いずみさの教育文化運動”をステップアップさせるなかで、「泉佐野まなびんぐサポート事業」の充実はもとより、必要に応じて学力向上アドバイザーの配置や学習支援プログラムの導入など、新たな支援策を講じます。また、グローバル社会を生きる子どもたちのために英語教育の推進に努めます。

さらに、「未来を紡ぐ子どもの絆プロジェクト事業」を発展させ、関係機関との連携を図りながら、児童期からの防災教育を充実させます。

学校施設整備については、国の緊急経済対策を活用することによって、平成27年度耐震化完了の予定が、前倒しをして今年度をもって完了します。

また、中学校給食についても、平成27年4月実施に向け、中学校給食センター建設工事及び運営の準備を進めます。

着任にあたって 教育部長 東口 祐一

昨年4月に教育委員会の組織改正がありました。2部（学校教育部・社会教育部）から1部（教育部）になりましたが、私は昨年度まで社会教育にかかる生涯学習担当理事を務め、今年度から、学校教育・社会教育を総括する教育部長として任命されました。

学校教育関係については、初めてのことで経験はありませんが、皆様方のご理解とご協力をいただき、教育行政のさらなる充実にむけ、一步一步前進できるように努めてまいりたいと考えております。

また、教育部として、学校教育・社会教育の連携を図り、学校・地域・関係機関・関係団体との連携をさらに強化し、一体となった教育行政の推進にも取り組んでまいりたいと思います。

初めて経験する部署もありますが、諸先輩方に追いつき追い越せるよう頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。

フレッシュ研修参加者募集中！！

教育委員会では泉佐野市の教育の未来を担う人材育成、また、教職員同士のつながりを深めることを目的に「フレッシュ研修」を行っています。今年度も研修を予定しており、さまざまな内容を企画しています。市内小学校・中学校に所属する経験年数3年目～7年目の皆様、積極的に参加してみませんか。関心のある方は管理職と相談をして教育委員会に申し込んでください。

【回数】年間6回（夏季休業中に2日間、4回分）

【内容】人権教育、支援教育、学力保障など

【講師】本市教育委員会指導主事



平成26年度（2014年度）
教育委員会事務局 指導主事体制

| 担当課 | 氏名 | |
|-------|-------|-------|
| 教育総務課 | 神於 正博 | |
| | 宮本 勝久 | |
| 学校教育課 | 指導係 | 飯田 恵子 |
| | | 田中 敦子 |
| | | 和田 哲弥 |
| | 人権教育係 | 辻本 武司 |
| | | 鮫島 賢 |
| | | 東 壽美雄 |
| | 十河 統治 | |
| | 國分 孝明 | |

どうぞよろしくお願いいたします。



子どもたちを笑顔に！ 学校教育課 指導主事 鮫島 賢

今年4月に長南中学校から学校教育課へ指導主事としてまいりました。中学校では常に子どもたちの成長を目標にたくさんの先生方と協力し合い、支えていただきながら頑張ってきました。

4月からは初めてのことが多く大変ですが、周りの皆さんがあたたく支えてくださるおかげで少しずつ前に進んでいるように感じます。学校では目の前に子どもたちがいて、子どもたちを成長させたいと思いながら指導してきました。教育委員会でも自分の仕事の先には子どもたちの成長があると思って頑張っていきたいと思っています。

1日でも早く仕事を覚え、学校とより密な連携を取りながら、頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

つながりを大切に！ 学校教育課 指導主事 國分 孝明

3月までは、日根野小学校に勤務しておりました。そこでは、たくさんのお子様と一緒に様々なことを学び、かけがえのない経験をさせていただきました。それができてきたのも、先輩の先生方や仲間からのたくさんのアドバイスや支援のおかげだと感謝しています。

本年度は、教育委員会の学校教育課へと配属となり、今までに経験した事のない仕事に日々を追われています。早くこの仕事に慣れて、先生方にとって縁の下の力持ちになれるように頑張ります。また、この仕事を通じて、学校と教育委員会が連携し、学校と地域、保護者、そして子ども達をつなぐことができるように励んでいきますので、よろしくお願いいたします。



いずみさの教育文化運動 “輝くひとみ あふれる笑顔”